



ブラジルの政策金利の引き下げについて

2017年4月12日(現地時間)ブラジル中央銀行は、COPOM(金融政策委員会)において、Selic(政策金利)を1.00%引き下げ、年率11.25%とすることを全会一致で決定したと発表しました。

1月、2月の0.75%に比べ引き下げ幅を0.25%拡大しましたが、同中銀は3月末に利下げペースを加速することを示唆していたため事前の市場予想に沿ったものとなりました。同中銀は、足元のインフレ率は目標値に近い水準で推移するなど落ち着いていること、主要国の経済政策が世界経済に及ぼす影響に不確実性が高まっていることを理由としております。依然緩慢なペースに留まるブラジルの景気回復基調を考慮した模様です。

次回は、5月末日にCOPOMの開催が予定されていますが、利下げによる国内景気回復への期待が高まるなか、海外からの資金の流出入や市場動向を注視してまいります。

ブラジル政策金利の推移
(2016年10月19日～2017年4月12日)

日付	政策金利(%)	変化幅(%)
2016年10月19日	14.00	-0.25
2016年11月30日	13.75	-0.25
2017年1月11日	13.00	-0.75
2017年2月22日	12.25	-0.75
2017年4月12日	11.25	-1.00

*政策金利:Selicを使用。*出所:ブラジル中央銀行のデータよりBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

